130th

平成27年度
地球温暖化防止活動
環境大臣表彰
受彰

CSR Report 2015

Countdown to 140th

株式会社大川印刷

印刷を通じた社会貢献を実践するソーシャルプリンティングカンパニー®

CSR レポートを手にとって頂き、あるいはウェブからご覧いただき誠にありがとうございます。発行を開始して 3 回目の CSR レポートとなります。弊社の CSR の歴史は、日本の多くの企業と同様「CSR」という言葉が存在しない頃からの歴史になりますが、2014 年に開催させて頂いた「共有価値創造セミナー」以来、従業員さんたちと共に進めてきた活動により変化が起きてきた年でもありました。

弊社では日頃から「地域や社会に必要とされる人と企業を目指す」という目標を常に掲げ、様々な活動をしています。

が、実際問題として地域や社会に必要とされる行動について、実感がわかない従業員さんもまだ複数いるかもしれません。あるいは情熱を持ってその目標に向かって全員が邁進できているかと言えば、まだまだかもしれません。

私は経営者として、もっと従業員さんがこの目標の重要性について実感してもらうのにはどうしたら良いのかについて、頭を悩ませていました。

そのような中、2015 年、少しでも多くの方々と共有できる価値を創り出すためには、まずは多くの人と会うことが必要と考え、工場見学の受け入れをこれまで以上に積極的に行いました。

その結果、実に様々な方々が工場に訪れてくださいました。

地域住民のグループである「ラムーナシニアクラブ」さんや、活動をご一緒させて頂いた「とつか宿お休み処」さん。地域の先輩方との語らいは、地域に働く者にとっても郷土愛の大切さを感じるのに重要なものでした。精神障がい者型地域活動支援センター「マローンおばさんの部屋」の皆さんにもお越しいただきました。他にも「ソフトウェア開発販売関東協同組合」様など、企業グループや高校、大学からも見学にお見えになりました。普段なかなか外部の方々やお客様と接触する機会の少ない工場勤務の従業員さんたちも、工場見学の案内役を担当するなど、見学を通じて多くに方々とあってお話をする機会になりました。

一方、地域の飲食店の方々とのご縁と、イラストを通じたまちおこし「横浜ひとまち百景」活動がきっかけとなり、地域の商店街のお祭りなどにブース出展をさせいていただけるようになりました。そこでも従業員さんたちが地域の方々と触れ合うことができました。

見学の受け入れから地域貢献活動まで積極的に行うことで、地域の人々、そして地域そのものと自分たちとのつながりを理解する、良い機会となったと感じています。

それら活動を通じて従業員さんが以前よりも積極的になり、従業員さん主導で様々な活動が行われるようになってきたことは喜ばしいことですが、その一方で目標の明確な設定、そしてその目標に対する行動と、それに対するその効果の確認、改善が疎かになってしまったことは今後反省すべき点として挙げられます。以前も第三者意見でご指摘いただいていることでもあり、今後社長以下従業員一同で考え行動していかばならない点であります。

今後は CSR 活動ももっと計画的に行うとともに、その効果や反省点を踏まえ次の行動につなげていく活動にしていかなければならないと考えております。

これからも引き続き皆様のお役に立てるよう努力して参る所存です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

株式会社大川印刷　代表取締役社長
大川哲郎

1 年間の動き

2014.4

- 01 新年度キックオフ開催
- 19～「活版横浜 2014」パネル出展
- 29 「ザキ祭り」出展

5

- 06 「めぐりの森植樹祭」参加
- 20 神奈川県印刷工業組合「印刷功労賞」受賞
- 25 「ユニセフ・ラブウォーク in かわさき」参加

6

- 18 「明治学院大学様」工場見学会『One Day for Others』開催
- 23 「スリーハイ様・人事労務様」工場見学会開催
- 28 「ヨコハマみらい環境協議会」開催（大川印刷が会場）

7

- 「KES 様」工場見学会開催
- 03 マーチング委員会「東京国際ブックフェア」参加
- 07 「輪転機・スリッター機」稼働
- 17 「とつか宿お休み処様・ラムーナシニアクラブ様」工場見学会　開催
- 「海外高校生インターンシップ」受け入れ

8

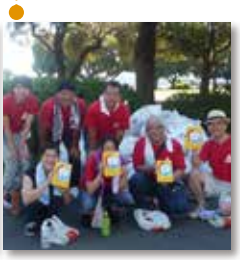
- 06 横浜中法人会主催「山下公園清掃活動」参加
- 18 横浜市「教員インターンシップ」受け入れ

9

- 03 「いのちの木」様にて「おくすり手帳プロジェクト」活動報告を行う
- 26 「マローンおばさんの部屋様」工場見学会　開催

10

- 13 「ザキ祭り」出展
- 25 「愛の収穫祭～わかめで結ぶ復興支援～」開催



品質・環境方針

1．「品質」とは製品の品質だけを対象とするのではなく、提供するあらゆる「サービス」についてもその対象と します。そのため、製品やサービスの環境対応、環境負荷の低減、汚染防止についても私たちが提供する「品質」の重要な一部です。

2．「顧客満足（CS）」とは「お客様の期待を上回ること」と定義すると共に、環境対応も CS の一部として活動します。

3．「従業員満足（ES）は顧客満足（CS）に先立つ」という考えのもと、ES の向上を推進します。

4．　自社の提供する製品やサービスの「品質」と環境対応の向上が ES の向上にもつながるものと捉えています。

5．すべての活動は法令順守、規格要求事項の順守のもと行われ、継続的改善を行うものとします。

企業行動規範

弊社は、社員全員が社会的責任のある行動を取るために企業行動規範をもうけています。

原則

1. 法令、社会的規範の遵守

【基本方針】

当社は、経営理念に基づいた企業行動に徹し、法令、社会的規範を遵守し、ステークホルダーから求められる社会的責任を果たす企業であります。

【行動基準】

当社社員は、事業運営に当たり、企業がステークホルダーから求められる社会的責任を自覚するとともに、経営理念が確保されることが、企業の社会的価値を向上させることであることを十分に理解し留意致します。また、経営に十分な内部統制の仕組みや不正行為を防止する機能を確保する為に、事業運営に関する法令、規範を遵守することを怠りません。これらが、社内に経営理念に即した形で、企業行動規範として確保されるよう高い水準を確保維持致します。

2. 企業利益の相反防止

【基本方針】

当社は、業務上の判断の際は、その行為が会社にとって最善な方法であるということを十分な情報のもとで判断し行うこととします。

【行動基準】

当社社員は、下記の条件を満たしているか確認し、その上で業務を遂行致します。

- 法令を遵守している
- 会社から与えられた権限であること
- 個人的な利害がないこと
- 判断に十分な情報を有していること

3. 社内通報

【基本方針】

当社は、社内での不正・情報漏洩など、反社会的行動に対して内部報告ができるように、社内通報が出来やすい環境づくりを実践し、当該事態の是正、再発防止に努めます。

【行動基準】

当社社員は、本企業行動規範に違反した行為または違反する恐れのある行為が行われることを知った場合、社内通報する行動しなければなりません。この場合において、相談者は、相談した事実によって何らかの不利益も受けることはありません。

事業活動

1. お取引先への対応

【基本方針】

当社はあらゆる法令及び規定された業務を遵守するとともに、公正な取引関係のもとに業務を適正に受託し実施致します。

【行動基準】

当社社員は、全てのお取引先に対し、公正かつ礼節のある態度で接し、お取引先の申し出に対しては、常に誠意をもって対応致します。また、関連する法令・ルールを遵守するとともに、健全な商習慣に従いお取引先と相互に利益のある取引関係を樹立し、これを維持致します。また、お取引先から私的な利益を受けません。

2. 公正な取引の推進

【基本方針】

当社は、取引活動において、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律などに関連する法令・ルール などを遵守致します。

【行動基準】

当社社員は、取引上のトラブルを未然に防止するため、取引開始に当たっては、取引条件を明確に提示するとともに、パンフレットなどに誤解を招くような表示は行ないません。

3. 企業秘密の管理

【基本方針】

当社は、業務上創出され、取得された情報を、その重要度に応じ企業秘密として適性・厳重に管理するとともに、自ら収集・使用するお取引先等の情報やお取引先等から預託を受けた情報に対しても、同様に企業秘密として管理致します。

【行動基準】

当社社員は、社内管理ルールに従い、漏洩を防ぐことに努めます。また、企業内で開示が必要な情報については、期限に従い開示を行います。そこで開示された情報については、その他の目的で使用は行わず、また、不正な手段によっての取得も行いません。

社会的責任

1. 人権・個人の尊厳の尊重

【基本方針】

お取引先、地域、社会、社員などステークホルダーは会社が関わる全ての人の人権と個人の尊厳を尊重致します。また、いかなる差別や嫌がらせも許さず、それらを見過ごすことも許しません。

【行動基準】

当社社員は、業務を通じて、お取引先、地域、社会の人たちなどステークホルダーの人権を尊重致します。 個々人の基本的人権を尊重し、社会的身分、門地、人種、信条または性別など、業務を進めるうえで関連のない非合理的な理由で差別はせず、また、同時に、社員によるいかなる差別的言動、嫌がらせもこれを許しません。また、社内における人事情報などプライバシーが侵害されることがないように細心の注意をもって取扱います。これらの基本的人権及びそこから派生する諸権利の擁護につき、理解、認識の向上を図るため、各種教育など適切な処置をとります。

2. 雇用・職場環境

【基本方針】

雇用、異動、昇進に当たっては、差別のない公平、公正な基準に基づいて行い、職場で一人一人の能力を十分に伸ばすことができ、社員同士が尊重しあい、差別や嫌がらせのない職場環境を確保するとともに、活力ある企業風土を醸成させます。社員の心身のゆとり、豊かさを実現できるように努め、快適、安全で清潔な職場作りを行います。

【行動基準】

当社社員は、安全かつ衛生的な会社及び事務所の環境整備に努めます。その為には、日頃から建築物、設備な どにつき、必要な安全・衛生対策を講じます。また、当社社員は、安全衛生と健康を重視した作業基準を遵守致します。

3. 地域、社会との関係

【基本方針】

当社は、地域、社会との連携と協調を図り、良好な関係を維持することにより、地域、社会に一員としての責任を果たすとともに、豊かな生活環境作りを支援し、社会性、公共性を勘案し、適切な寄付など社会支援を行います。

【行動基準】

当社社員は、地域、社会活動への参加協力も積極的に行うとともに、会社の経営方針及び事業活動に対する地域、社会の理解を得られるように努力致します。その為には、適切な社会貢献、寄付などによる社会的責任を果たすことで、企業の社会的価値の向上に努めます。事務所の開設に当たっては、周辺の生活環境に配慮し、交通、駐車、騒音、臭気などの問題に積極的に取り組み、地域住民と良好な関係を構築致します。当社では、社会の秩序や市民生活の安全に脅威を与える反社会的勢力、組織または団体とは関わりを持たず、これらの圧力に対しては断固として対決し、これを排除致します。

平成 21 年 2 月 26 日
株式会社　大川印刷
代表取締役　大川哲郎

平成 21 年に制定した企業行動規範

11

- 03　「ザキ祭り」出展
- 11　「ソフトウェア開発販売関東協同組合様」工場見学会　開催
- 18　「高知商業高校様」工場見学会　開催
- 23　「どんぐりブラザーズと植樹大作戦 あすの地球と子どもたち」参加
- 26　「横浜国立大学様」工場見学会　開催
- 27　「マーチング EXPO2014　Part II」出展
- 30　「インターシップ Cafe」開催

12

- 02　墨田区印刷工業組合「ソラマチ　カレンダー展」出展・販売
- 06　「横浜サンタプロジェクト」参加
- 07　「第5回とつかお結び広場」出展
- 22　「第2回ジョブヨク」参加

2015.1

- 07　環境絵日記授与式
- 22　「台湾研修生インターンシップ」受け入れ
- 29　「第1回大人への出発（たびだち）」開催

2

- 04　「第1回 CSR 報告会」開催
- 07　「第2回 CSR 報告会」開催
- 16　「第2回地域企業 CSR サミット」
- 20　「鳥が丘小学校様」工場見学会　開催
- 26　「第2回大人への出発」開催

3

- 03　「第3回 CSR 報告会」開催
- 13　「第4回 CSR 報告会」開催
- 17　「お薬手帳中間報告会」開催
- 19　「第3回大人への出発」開催
- 30　RALLY NIPPON 2014 ポスター「日本観光振興協会会長賞」受賞

主な社会責任活動

CO_2 排出量削減

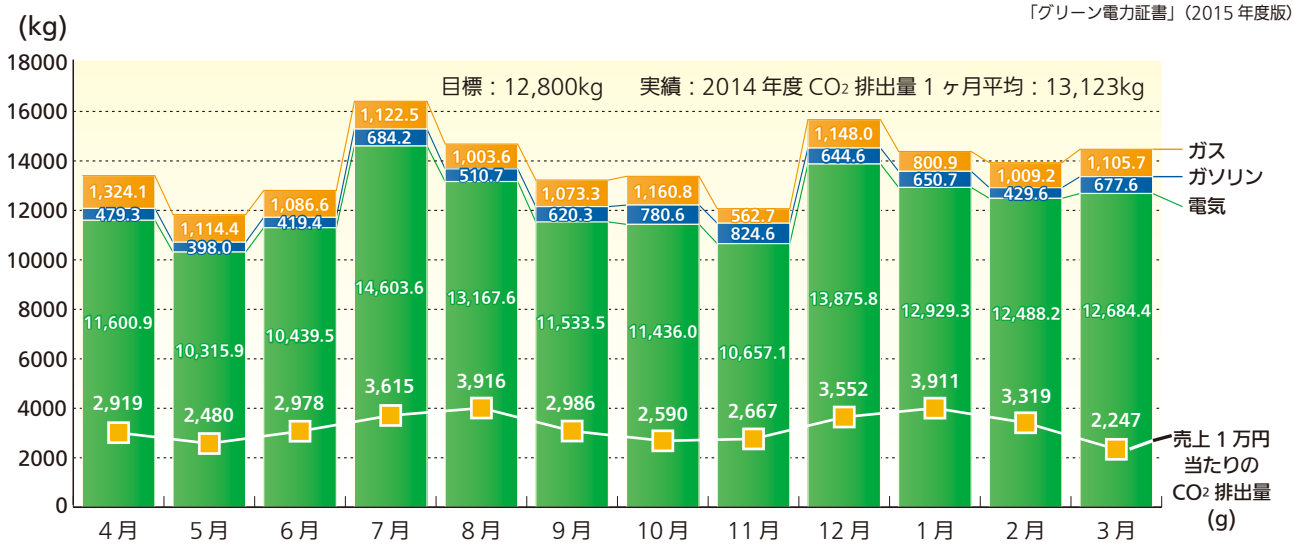
❶ 2007年から全社電気使用量を継続計測して CO_2 排出量削減に努め、一部製品の用紙製造と印刷工程における電力消費により排出された CO_2 をマイナスする植林も継続しています。

2014年 実績 本年度の弊社月平均の CO_2 排出量は 13,128kg。受注増加にともない 287kg 増加しました。

2015年 目標 −12,800kg

❷ 2013 年から自然エネルギーによって発電されたグリーン電力を使用しています。伝票や年賀はがきなど社内印刷物を印刷するために使う電力の 1 年分 2000kWh を「電気そのものの価値」に加え、環境を汚さない、CO_2 を排出しない、エネルギーが枯渇しないグリーン電力を毎年購入して使用しています。

「グリーン電力証書」（2015 年度版）



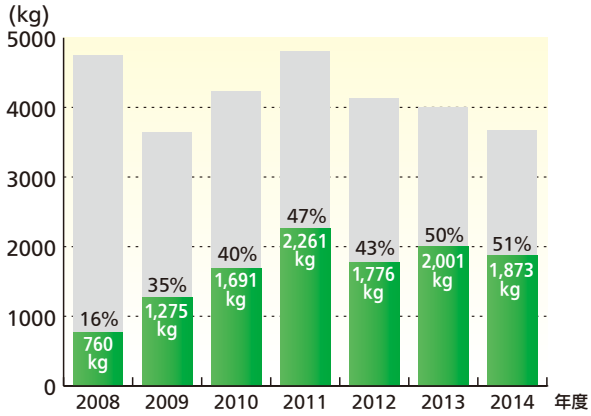
ノン VOC（石油系溶剤 0%）インキの使用

2005 年より、シックハウス症候群などの原因物質である VOC（揮発性有機化合物）を含まないノンVOCインキを導入しています。

VOC FREE™ ノン VOCインキマーク

2014年 実績 本年度使用目標に対し1,873kg（全体の51%）となり目標を達成いたしました。

2015年 目標 インキ全体の使用量に対するノン VOC インキの割合を 60%達成させる。



MUD（メディア・ユニバーサル・デザイン）

誌にとっても使いやすく見やすい、印刷物（メディア）の提供に取り組んでいます。（p.8）

MUD 認定マーク

2014年 実績 MUD 教育検定 2 級試験 1 名受験 合格者 1 名
MUD 教育検定 3 級試験 1 名受験 合格者 0 名

2015年 目標 MUD 教育検定 3 級及び 2 級合格

グリーン購入

グリーン購入ネットワーク会員および、横浜グリーン購入ネットワーク幹事会員として地域活動を推進しています。

横浜グリーン購入ネットワークマーク

2014年 実績 2005 年より、文具用品のエコマーク認定商品購入率 100%を継続しています。

2015年 目標 商品購入率 100%

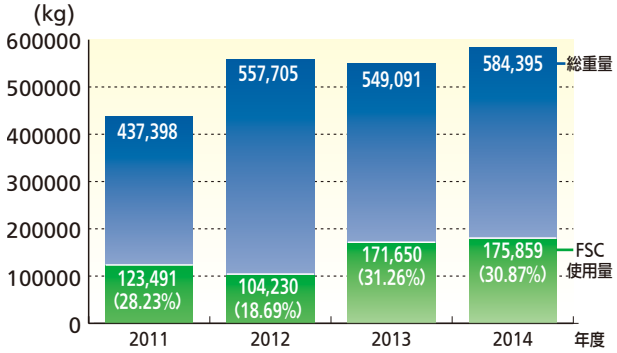
FSC® 森林認証紙の普及

違法伐採されていない、適切に管理された森林から産出された木材チップを原料とする FSC® 森林認証紙を積極的に使用しています。2007 年、国内で初めて医薬品の添付文書として企画・開発を行いました。

FSC マーク

2014 年 実績 本年度使用目標（用紙使用量の 30%）に対し約 175,859kg（全体の30.87%）となり、目標を達成しました。

2015 年 目標 用紙全使用量の 30%

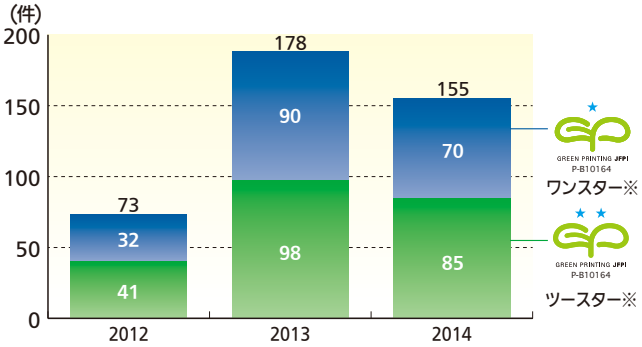


GP（グリーンプリンティング）認定取得

2012 年 4 月、日本印刷産業連合会が定める GP 認定制度を取得いたしました。環境経営に積極的な印刷関連企業として同基準に適合した工場・事業所を認定する制度で、GP マーク表示により、営業から納品まで全てが環境対応製品であることが証明できます。

2014 年 実績 155 件の認定表示をしました。スリースター製品の認定に向け引き続き活動を継続いたします。

2015 年 目標 +180 件



※ワンスター、ツースター、スリースター表示があり、星の数が多いほど、より環境に良い製品であることが視覚的に表現されます。

リユース・リサイクル

❶ 配送にプラスチックコンテナを活用して包装資材削減に努めています。印刷用紙の端材を利用して作成したリパッド® メモ帳をリパッドとして、工場見学の土産品としてリユースしています。

リパッド®

実績 本年度は 38.4kg のリユースができました。

❷ 用紙の断裁で出る端材を 5 段階に分別し、リサイクル時の漂白で排出される CO^2 削減にも役立てています。

分別の様子

平成 26 年度の端材リサイクル量：39.7 t

- A ランク：印刷していない白い面が　100%
- B ランク：印刷していない白い面が約 90%以上
- C ランク：印刷していない白い面が約 50%以上
- D ランク：印刷していない白い面が約 20%以上
- E ランク：印刷してある面が100%

❸ 古紙リサイクルの更なる促進を目指し、リサイクルに適した用紙を積極的に使用するとともに、社団法人日本印刷産業連合会認定のリサイクルマークを積極的に表記しています。

リサイクル適正マーク

有機溶剤使用量の削減

弊社では 2008 年から、使用する溶剤すべてで、国が定める有規則（労働安全衛生法に定められている、第 1 種有機溶剤から第 3 種有機溶剤に分類されている）に該当する製品は使用していません。

印刷機の洗浄にも有機溶剤は使用していません

CSR 報告会

2 月　4 日(水)　10 名	3 月 13 日(金)　24 名
2 月　7 日(土)　27 名	4 月 14 日(火)　26 名
3 月　3 日(火)　26 名	合計 103 名

今回は活動報告を本社で行いました。ビジョン推進室は「従業員満足度向上に全社員で取り組み、それを家族や顧客、社会の幸福につなげていく」というメインビジョンのもと、4 つの委員会を取りまとめてきました。品質向上委員会は品質を向上するため作業手順書の見直し、パート向けの勉強会など従業員目線での品質向上の取り組みを発表しました。ES 向上委員会は従業員同士で感謝の気持ちを伝えあう「ありがとうカード」の紹介などがれ ES（従業員満足度）の向上に繋がったという事例を発表しました。サービス向上委員会は CS 向上のためには ES を向上させることが大切だというテーマのもと、お客様に喜ばれるサービスとは何かを考えた活動を発表しました。CSR 推進委員会は、「大川印刷のファンを増やす」というテーマのもと、いろいろな活動を通じて、地域や社会、お客様に喜ばれ売上にも繋がったという事例を発表しました。外部の方との接触が少ない工場内において、5 回行われた報告会はお客様と触れ合える貴重な経験となりました。懇親会では、普段現場で働いている従業員をお客様に紹介し、顔の見える関係づくりをしたいという想いから「従業員紹介コーナー」を実施し従業員の素の姿を紹介しました。

取り組みの発表する諸星委員長

主な地域貢献活動

愛の収穫祭―わかめで結ぶ復興支援―

10 月 25 日（土）に横浜ビール驛（うまや）の食卓にて「愛の収穫祭―わかめで結ぶ復興支援―」を開催いたしました。今回の企画は、（公社）シャンティ国際ボランティア会の気仙沼における活動をもっと多くの方に知ってもらい、かつ、社会貢献に興味のある男女の出会いのあるイベントをしよう、と企画したものです。

リユースで寄付活動

弊社は、子どもたちが安心して学べるよう、（公社）シャンティ国際ボランティア会様の「本で寄付するプロジェクト」の支援活動に今後も参加いたします。
昨年度から続けている特定非営利活動法人 WE21 ジャパン様の洋服や雑貨のリサイクル＆リユース活動の協力で、みなさんから集めたものを寄付しました。収益はフィリピンや東日本大震災復興の支援活動にあてられます。

本で寄付するプロジェクト

着なくなった洋服でも社会貢献

環境絵日記地元企業賞表彰

2014 年より横浜市資源リサイクル事業協同組合主催の環境絵日記に、地元企業賞の選定と表彰に協力をしています。

受賞作品「豊かな未来」

イベントへの参加・協力

様々なイベント参加により地域社会と交流を深めるとともに、支援活動や CSR 情報の発信を行っています。

ザキ祭り '14/4/29（他 2 回開催）

ユニセフ・ラヴウォーク in 川崎 '14/5/25

山下公園清掃活動 '14/8/6

鳥が丘小学校工場見学 '15/2/20

横浜サンタプロジェクト '14/12/6

植樹・育樹活動への参加

地域未来創造型インターンシップ

人材育成・学生ならではの発想を新しいビジネスへつなげるインターンシップ生を積極的に受け入れています。
活動に取り組むインターンシップ生たちの真摯な姿勢は私たちの気づきの機会ともなっています。

第 15 期
中内（なかうち） 晴香（はるか）さん
高知大学 2 年生

使いやすくいつも持っていただけるおくすり手帳の開発をするために、皆さまの声やお力をお借りし、今までにないような工夫を加え“新しいおくすり手帳”として形にすることができました。

第 16 期
小林（こばやし） 愛鐘（あかね）さん
明治学院大学 4 年生

おくすり手帳普及に向けてトライアルを始めることになりました。また在住外国人の方々にも使っていただけるように、多言語化の可能性も検討していきます。少しでも多くの人に携帯していただけるようにまだまだ挑戦は続きます。

Nikki Szczepanski（ニッキ シャパインスキー）さん

外国の方が飲食店をより楽しめるおもてなしを考えようという課題でベジタリアンやハラル（イスラム法上で許された項目）の方も安心して食事を楽しめる“Point & Talk Sheet”を開発しました。

地域未来創造型インターシップ
頼（らい） 怜均（れいきん） さん

2 週間のインターシップ期間の中で、日本企業の文化を学び、台湾での「横浜ひとまち百景」イラスト展示会の企画を立てました。また、おくすり手帳の繁体字（台湾語）版の制作、国によって色やイラストから受けるイメージの違いを調査しました。

プロジェクト・開発製品

プロジェクト

「おくすり手帳普及プロジェクト」

多くの方々におくすり手帳の大切さを伝え、生活の安心・安全をサポートしたい！という想いからスタートしたおくすり手帳普及プロジェクト。現状として、おくすり手帳の大切さがあまり理解されていないとうことや、持ち歩かれていないということを知ったのがプロジェクトを始めたきっかけです。

「横浜ひとまち百景」

横浜の身近な風景のイラストをカレンダーや絵はがき、便箋などのステーショナリーにして、まちの活性化のお手伝いをしています。本年度も新たな風景が仲間入し、お客様のパンフレットにも採用されました。

お客様のパンフレット　絵はがき　カレンダー

環境配慮型製品

「GREEN Series」

NOSIGER + 株式会社 大川印刷

「日本の森を元気にする」をコンセプトに、間伐材の利用促進につながるカレンダーとメモパッドを開発いたしました。台座は横浜市の水源林である山梨県道志村の木材を使用しています。これからもシリーズとして新たな製品にもご期待ください。

自社開発製品

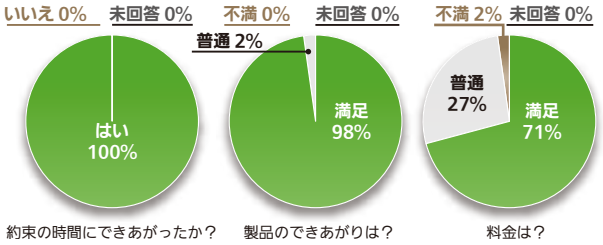
間伐材の活用、CO_2 排出量を埋め合わせるカーボンオフセット、誰にでも見やすいメディア・ユニバーサル・デザインなど、人や地球への優しさに配慮しご提案しています。

その他

お客様アンケート

納品時に「お客様アンケート」の添付を実施しています。お客様の声なきクレーム、また、お礼の言葉などを全社員で共有し、品質とサービスの向上に努めています。

送付件数	1842
回答件数	259（回収率：14%）



講演活動

2014/04/17 第 2 回神奈川大学リレー講義
06/10 横浜国立大学
07/30 MICE オープンカレッジセミナー
10/20 早稲田大学 MBA 講座
10/23 横浜市立大学寄付講座
11/06 フェリス女学院大学
11/15 関東学院中学校キャリアガイダンス授業
11/21 浜松市地域福祉社会貢献セミナー
12/04 神奈川大学 de YES「横浜で地球を学ぼう」

メディア掲載

2014/07/31 印刷新報「GP を企画提案につなげ」
09/02 ラジオ「はまっこストリーム」（社長インタビュー）
10/01 朝日新聞朝刊「ハッピーを刷りたい」（社長インタビュー）
10/16 タウンニュース中区・西区版「キーワードは社会貢献」（愛の収穫祭～わかめで結ぶ復興支援～）
2015/02/08「ラジオ深夜便」（社長インタビュー）

第三者コメント

ＩＩＨＯＥ（アイアイエイチオーイー）　人と組織と地球のための国際研究所　代表　川北秀人　様

当意見は、本報告書の記載内容に基づいて執筆しています。同社の CSR への取り組みは、環境負荷の削減や地域社会貢献活動を中心に、従業員の主体的・積極的な参画を促しながら、意欲的に進められていると言えます。

高く評価すべき点

・二酸化炭素の排出量や有機溶剤の使用量をはじめとする環境負荷の削減（P4-5）について、定量的な把握ならびに主な負荷の削減が継続的に実践されていること。特に、社内使用分印刷物にグリーン電力を使用していることを高く評価します。今後は、ノン VOC インクや FSC 認証紙の使用について、取引先に対する働きかけや、その反応に対する貴社の工夫なども紹介されることを、引き続き期待します。

・従業員が自発的・継続的に CSR の推進する主体であることを理解し、実践するための働きかけについて、従業員主導の取り組みの報告会（P3）や地域内外の住民などへの工場見学などを通じて、積極的に機会を設けていること。今後は、品質・環境方針に挙げられているように、従業員満足の向上に結びついていることの確認・検証も期待します。

・地域イベントへの協力や大学生インターンシップの受け入れをはじめとする地域社会貢献活動（P6）について、経営者自らが率先して社内外でイニシアティブを発揮し、他社の模範となる水準にあること。今後も、従業員の方々によるボトムアップ型の取り組むも含め、継続されることを期待します。

取り組みの進捗を評価しつつ、さらなる努力を求めたい点

・品質・環境方針（P3）に基づく全社的・日常的なマネジメントへの落とし込みについて、方針を定め、当該年度と次年度の目標や具体的な施策・改善を明記していることを評価しつつ、2020 年ごろを視野に入れた中期的な目標が明記されることを、引き続き期待します。

・環境負荷削減と地域社会貢献以外の主な社会責任への取り組みについて、従業員や消費者への配慮・対応をはじめとする ISO26000 に掲げられた中核主題に対しても、2009 年 2 月に定められた企業行動規範に基本的な考え方や進め方の方針が示されていることから、日常的なマネジメントに落とし込んで実践されていると推量します。今後は、この規範に基づく「実践・進捗・改善報告」として情報開示されることを期待します。

ＩＩＨＯＥ：「地球上のすべての生命にとって、民主的で調和的な発展のために」を目的に 1994 年に設立された NPO。主な活動は市民団体・社会事業家のマネジメント支援だが、大手企業の CSR 支援も多く手がける。http://blog.canpan.info/iihoe/

川北秀人：CSR 関連分野での略歴（2013 年 10 月現在）
1964 年大阪生まれ。87 年に京都大学卒業後、(株)リクルートに入社。国際採用・広報・営業支援などを担当し、91 年に退職。その後国際青年交流ＮＧＯ「オペレーション・ローリー・ジャパン」の代表や国会議員の政策担当秘書などを務め、94 年にＩＩＨＯＥ設立。ＮＰＯや社会責任・貢献志向の企業のマネジメント、ＮＰＯと行政との協働の基盤づくり、ＣＳＲや環境・社会コミュニケーションの推進を支援している。

CSR Report 2014：2014 年 4 月 1 日～ 2015 年 3 月 31 日における弊社の CSR 活動内容を中心に報告しています。

制作・印刷
GPN Green Purchasing Network ®
グリーン購入ネットワーク「オフセット印刷サービス発注ガイドライン」に基づき作成しています。

メディア・ユニバーサルデザイン
P10287 MUD
見やすさに配慮した、ユニバーサルデザイン書体を使用し、年齢の差、障がいの有無にかかわらず、誰にとっても使いやすく見やすい、メディア・印刷物である MUD 認定を取得しています。

グリーンプリンティング認定
GREEN PRINTING JFPI P-810164
印刷資材と製造工程が環境に配慮されているグリーンプリンティング認定工場で印刷しています。

ノン VOC インキ
VOC FREE™
有害な VOC（揮発性有機化合物）を発生させるもととなる石油系溶剤が 0%のインキを使用しています。

グリーン電力
ENERGY GREEN BIOMASS
バイオマスで発電されたグリーン電力 175kwh で印刷しています。

リサイクル適正
リサイクル適性Ⓐ この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。
リサイクルを阻害しない資材だけを使っています。

印刷用紙
FSC www.fsc.org ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C009309
赤木材紙普及協会
違法伐採がされていない、適切に管理された森林から産出された木材チップ、バガスパルプ、古紙原料とし、グリーン電力を活用して製造された、FSC® 森林認証紙を使用しています。

「印刷」を通じた社会貢献を実践するソーシャルプリンティングカンパニー®
株式会社大川印刷
CSR P-00027　YOKOHAMA 横浜型地域貢献企業

http://www.ohkawa-inc.co.jp
http://www.facebook.com　https://twitter.com/OhkawaPrinting

本社・工場：〒 245-0053　横浜市戸塚区上矢部町 2053 番地
TEL：045-812-1131（代）FAX：045-812-1135
横浜営業所：〒 220-0011　横浜市西区高島 2-14-12 ヨコハマジャスト 2 号館 3F
TEL：045-441-2011（代）FAX：045-441-2014